

★太枠の枠内のみ記入して下さい。

★各ページの罫線は動かさないようにしてください。

受付No.

2020
年度

公益信託
オラクル有志の会
ボランティア基金 助成申請書【記入例】

この申請書類および添付した資料に記載されている事項は、助成金の支給対象選考等、当公益信託の運営に必要な範囲内で、当公益信託の運営委員・信託管理人が取得・利用すること、また、支給が決定した場合は、団体名等の情報が主務官庁へ提供されることについて、同意のうえ応募します。

①グループ・団体名	法人格 ※法人格がない場合はblank	特定非営利活動法人		
	ぶらっとサロン にじいろ			
②所在地	〒123-0045	TEL:03-1234-5678		
	都道府県	東京都		
	市区町村	千代田区丸の内		
	番地・建物名	1-2-3-45 東京ビルディング 666		
③代表者	氏名	東京 千代美		
	住所	〒134-0046	TEL:03-2345-6789 東京都中央区銀座 2-3-4-56	
④団体連絡・通知先	担当者氏名	神田 虹子		
	郵送先	〒234-0056	TEL(日中連絡先):090-9876-5432 (自・勤) 東京 都 道 新宿区神楽坂 2-3-4-56 府 県	
	E-mail	nijiro_nijiko@tr.mufg.jp		
グループ・団体の概要	⑤結成(設立)(西暦)	2004年4月	⑥会員数	16名
	⑦主な活動内容	千代田区内を拠点に、「誰でも気軽に立ち寄り、思い思いに過ごせる場」をモットーに活動をしている。日中は主に、未就学児とその保護者や、高齢者の方たちが訪れ、一緒に昼食をとったり、遊んだりしながら交流をしている。放課後の時間帯には、小学生が立ち寄り、安心して過ごせる場の提供をしている。 1.みんなのデイホーム事業…週4日 対象:誰でも 2.通信の発行…年に2回(夏と冬) 対象:利用者・公共施設・社協等		
	⑧今年度の予算状況	収入	会費:年 3,000円×10名 = 30,000円 年 1,500円×6名 = 9,000円 助成金・補助金 :0円 収益金(バザー等):720,000円 その他(寄付金):50,000円	支出 ※内容とその内訳を記入 水道・光熱費@10,000×12ヶ月=120,000円 交通費@800×3×192日=460,800円 材料費@100×30×48日=144,000円 印刷費@35,000×2=70,000円 繰越金 14,200円
			合計 809,000円	
	⑨継続的に助成を受けている先	助成団体名	助成年月	助成金額
なし				
⑩今回助成希望額	16	万円	*10万円から100万円の範囲内(万円単位)	

受託者は、個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57条)に基づき、申請者の個人情報を、公益信託業務を遂行するために必要な範囲内に限定して利用致します。

★太枠の枠内のみ記入して下さい。

★各ページの罫線は動かさないようにしてください。

団体名 ぷらっとサロン にじいろ

申請する案件について	⑪申請事業内容と 主な資金使途	一人暮らしの高齢者と多世代にわたる地域住民が交流できるサロンの開催 (講師謝礼、チラシ印刷費、レクリエーション材料費等)					
	⑫申請理由	日常活動の「みんなのデイホーム事業」に取り組むなかで、特に、一人暮らしの高齢者の参加が少ないことに気が付いた。参加している高齢者やその友人に聞き取りを行ったところ、「活動の情報が届いていない」「活動を知っても一人では行きづらい」という声が多かった。 一人暮らしの高齢者への広報(顔を合わせて呼びかける)を強化し、多世代にわたる地域住民との交流を深められるよう、サロンを開催する。このサロンとしては初年度の取り組みなので、参加費無料で開催し、次年度以降は参加費による運営を目指す。					
	⑬事業実施時期	開始:2020年8月(8月以降実施する事業)		終了:2021年3月(翌年3月までに終了する事業)			
	⑭具体的な内容と 計画	<p>【一人暮らしの高齢者と多世代にわたる地域住民の交流のためのサロンの実施】</p> <p>目的:主に一人暮らしの高齢者と多世代にわたる地域住民が、みんなで食事や会話や余暇活動を楽しむ場を提供し、参加者同士が支え合って過ごせる地域づくりを目指す。そして、「ぷらっとサロン にじいろ」の活動を一人でも多くの方に知ってもらい、日常活動への参加促進を図る。</p> <p>実施日 毎月第3土曜日 11:00~14:00 場所 ちよだ交流会館</p> <p>対象 一人暮らしの高齢者(年齢制限なし)と日常活動に参加している地域住民</p> <p>内容 ①昼食の提供(区内の食事サービスグループAに協力依頼済み) ②参加者の関心に合ったレクリエーション(体操、編み物、絵葉書、将棋など)をする。 ③10月と2月には「健康維持」や「千代田区の魅力再発見(歴史や建造物など)」をテーマに、地域のボランティア団体から話を聞く。</p> <p>予定人数 30人</p> <p>周知方法 区役所、社会福祉協議会、地域包括センターへの配架および、情報誌への掲載を依頼する。また、区内で高齢者世帯を対象に活動をするボランティアグループBと連携し、各自宅へチラシを配布する。</p> <p>配慮 かみ碎きやすい大きさ、飲み込みやすい食品を使った昼食や茶菓子を用意する。身体的・精神的にケアが必要な方の参加がある場合は、専門家に相談する。</p>					
	⑮必要な費用の内訳	項目	単価	数量	金額	自主財源	助成金
		講師謝礼	5,000	2	10,000	0	10,000
		昼食・茶菓子代	400	30×8	96,000	40,000	56,000
	レクリエーション材料費 (毛糸・将棋盤・絵具など)	40,000		40,000	0	40,000	
	チラシ印刷費	5,000	8	40,000	0	40,000	
	会場費	1,000	8	8,000	0	8,000	
	ボランティア交通費	500	24	12,000	3,000	9,000	
	合計(円)			206,000	43,000	163,000	
⑯当基金以外に 本プロジェクトで 併願している先	助成申請団体		申請額		助成決定時期		
	なし						
⑰当基金からの 助成実績	※過去の助成年度(西暦)と合計回数を記入ください。 (2010)年度,(2013)年度,()年度, ()年度,()年度,()年度, ()年度,()年度,()年度				合計		
					2回		